

## 天沼検定が人気です！

コミュニケーションは良いことばかり。名言・名文を集めた「ことだま百選」をすべて暗唱できれば、名人の称号を与えられる「天沼検定」。杉並の一つの中学校から始まったその取り組みが地域の中で大きな反響となり、書籍化も実現しました。

JR荻窪駅北口を出て青梅街道を渡ると、住所は杉並区为天沼となります。この地域の方々の中で、今人気となっているのが、「天沼検定」です。天沼検定は、全国各地にあるようなご当地ネタの達人を認定するものではありません。この検定は、この地区にある杉並区立天沼中学校(杉並区本天沼3-10-20)の藤川章校長(57歳)と同校の国語を担当する川原龍介教諭(53歳)が中心となり、心に残る名言や名文などを集めた「ことだま百選」を音読する、暗唱形式の検定です。

藤川校長は、人間関係を築くうえで、良いコミュニケーションをとることが最も重要と考えました。良いコミュニケーションをとるためには、良い言葉が必要と考えました。良い言葉は、良い人間関係を築くばかりか、高い教養を身につけることにもつながります。そこで、平成23年10月に、



名言・名文集めを始め、200ほどの作品リストの中から、ことだま百選を選出しました。

この「ことだま百選」を暗唱できれば、スタンプを押してもらえます。このスタンプを積み重ねていくことを「天沼検定」と言います。判定員は、教師のほかPTAや町会などの地域の方たちで編成されている学校支援本部のメンバーが担当します。生徒たちは、学校の休み時間や自宅で練習を重ねます。暗唱ができるか家族の前で披露する生徒も多く、家族も天沼検定にはまり込んでいくこととなります。

ことだま百選の最初は、はじめの一步、ものごとの初歩的な意味合いで使われる「いろは歌」です。春の七草や秋の七草、落語から寿限無、茶摘みや荒城の月などの唱歌、学問のすすめや雪国などの小説などから、その一節が並んでいます。円周率や太陽系の惑星など、国語以外の幅広い分野から選らばれ、その数は99題です。最後の名言・名文は、自分が暗唱したい文章を書き込んで覚えます。100の暗唱を制覇すると、「言霊名人」の称号を与えられます。学校では、通知表にも受験にも直接関係のない、この検定に生徒たちが取り組んでくれるか心配しましたが、検定を開始し始めて2年目から、3人の名人が誕生するなど期待以上の結果となりました。

生徒のがんばりに、家族や地域の方々も巻き込まれる形で、この地域では「天沼検定」が人気となっています。そのことが出版社の耳にも入り、全国の書店にも並ぶことになりました。 書名/ことだま百選 編/天沼中学校(講談社) 本体価格/900円